

北方4島交流「択捉島」訪問事業



この交流事業がスタートして早25年目の節目の年になりました。私自身、衆議院特別委員会理事の立場として参加しましたが、やはり百聞は一見に如かずです。ロシア政策の一端を垣間見ることができました。

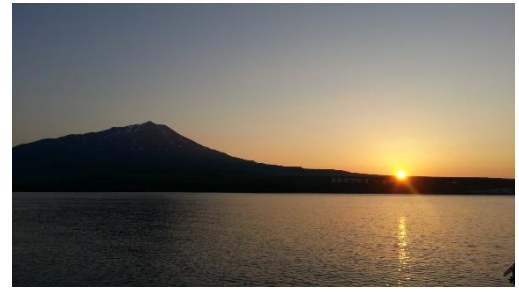
そして、既成事実化しつつあるロシアの「クム諸島経済発展プログラム」を目の辺りにして、複雑な思いを抱いたのは私だけではなかったと思われます。確かに、島民にとって生活環境が改善されるのは喜ばしいことではと思いますが…。



● 4島交流の目的のために4年前に建造された客船「エトピリカ」号。年に日本側から6回、ロシア側から4回程度、訪問し合います。国後島以外は、この船で寝泊まりすることになります。



● オホーツクの海には多様な生態系があります。悠々と水面に顔を出して遊泳するアザラシもその一つ。特に太平洋とオホーツク海が交わり、波が荒く船は揺れます。もっとも魚が獲れるスポットは釣り三昧です。



● 標高1582mの択捉島第2の散布山(ちりつぷやま)、から覗く朝日が絶景でした。すそ野が広く美しいです。夏シーズンは島民問わず大陸からも、多くの登山客が訪れます。



● 交流事業の一環としてのホームジット。2時間半程度の時間しかありませんでしたが、島民の生活ぶりの一端を知ることができます。早くに結婚して離婚する、母親一人で育てる世帯も多いとのこと。



● 文化交流も目的の一つです。日本側から江戸時代から継承されている「操り人形」を披露しました。一方、ロシア側からは民族衣装を着つつ、歌やダンスで歓迎してくれました。



● 今回の訪問客は総勢で62人でした。まずは、室蘭港での出発式が早朝より執り行われました。地元の根室市長さんはじめ、地元関係者に見守られる中、任務遂行の意を強くしました。

今月の 水戸まさし応援団

「人物本意」

水戸議員に尊敬する人はと尋ねると「西郷隆盛」とかえってきた。西郷隆盛は私欲より国家の大業を成しとげること優先にした人物である。

先日のTV番組「ニッポンの大問題」で拉致されたアンケート調査結果に同じ思いを持った。

「今、国民は何に怒っているか」の問いに、税のこと政治とカネの問題が上位を占めた。また「政治家のことを信用しているか」の問いに対して、信用しているか」の問いに対して、信用している37%・信用していない63%であった。

これは「世の中のため」ではなく「自分のため」の政治家が多いと感じているからだろうと思った。

これからの日本の目指すべき進路で一番大切なのは「人」の存在が重要だという水戸議員が手を携える「信頼できる人」「将来を託せる人」を私達も応援していきたい。

水戸応援団

Mチーム 益田正廣

- ◆HP 「水戸将史」で検索
- ◆メール kickoff310@yahoo.co.jp
- ◆Face book 「水戸将史」で検索
- ◆Twitter @mito_kickoff
- ◆メルマガ 登録はHPから

- ◆国会事務所
〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館601号室
TEL:03-3508-7027 FAX:03-3508-3827

- ◆地元事務所
〒245-0008
横浜市泉区弥生台26-6
TEL:045-814-3001
FAX:045-814-3007